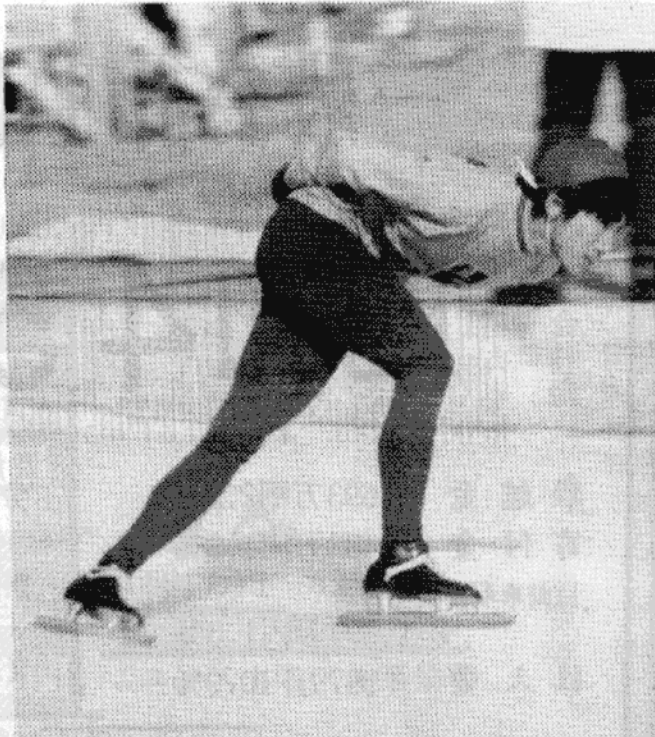


スピード

石山君 5,000 位に優勝
大出さん二種目を制覇

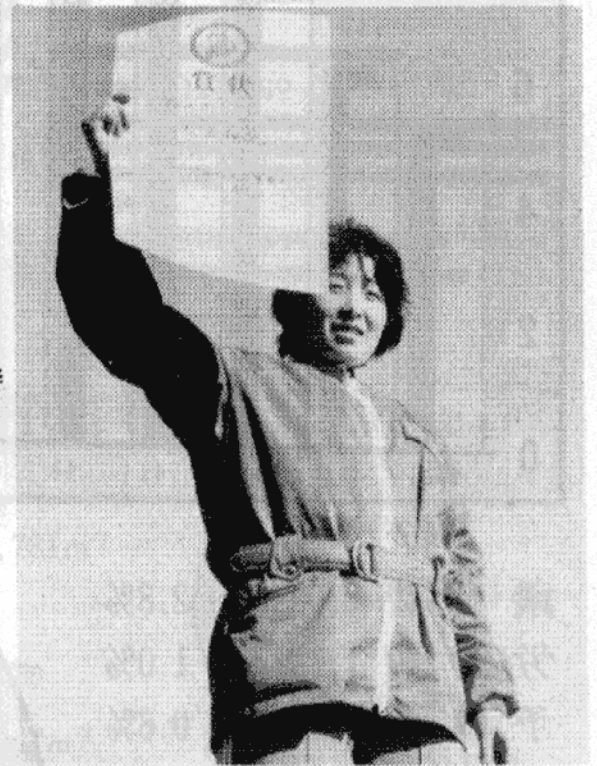
スケートセンターで行なわれたスピード競技では、一般男子5000位に石山保幸君（相生町）が日本新記録で優勝し1万位にも2位に入賞、一般女子では大出和江さん（相生町）が、500位と1000位の二種目に優勝を果たしたほか、高校男子で大山哲男君（久次良）が、1500位に3位に入賞するなど、地元選手が大いに活躍しました。



▲5,000 位に日本新で優勝した石山選手

天皇杯

第27回 冬



▲2種目に優勝し、表彰を受けた大出選手



▲高校アイスホッケー決勝で、北海道ゴールに攻め込む栃木県チーム

アイス ホッケー 高校が準優勝
一般は四位

アイスホッケーは、一般が準決勝で北海道に惜敗し、四位に止まったものの、高校の部では準決勝で福岡を17対1の大差で打ち破り決勝に進出、みごとに準優勝を果たしました。



▲四位入賞した後藤選手の美しいスケート

191校が参加

全国高校スケート

荒天克服して熱戦

国体に引き続き、一月十一日から十四日まで開かれた全国高校スケート競技選手権大会は、初日、二日を異状天候に見舞われ、日程を大幅に変更して開催されましたが、若者らしい熱気あふれた競技が展開され、地元を期待をになった日光高選手もスピードでは、大出和江さんが

五百位と千位に優勝、岡田三重子さんが、一年生ながら三千位三位に入賞、女子スピード総合三位に入賞し、男子でも高橋昭君が五千位と千五百位に入賞を果たすなどの活躍をみせました。アイスホッケーは、念願の北海道勢打倒はならなかったものの、準決勝で苫小牧東高（北海道）を最終苦しい善戦で三位に入賞、またフィギュアでも、神山寿美子・二木ひとみ・飯田浩子さんのトリオが奮闘し、学校対抗で五位入賞に輝きました。なお、十四日にスケートセンターで行なわれた閉会式の席上次の選手が、それぞれ優秀選手として表彰されました。

（優秀選手）
○スピード 大出和江さん
○アイスホッケー 吉江英男君 笹川一成君 伊沢昇一君

団体三位に入賞 後藤さん個人四位に

一般女子で後藤美代子さん（清滝2）が個人四位に入賞、中田佐代子さん（清滝2）松岡さかえさん（久次良）を加えた団体では、三位入賞をかざりました。